

社会教育課程の講師陣

(講師 授業順)



齊藤 ゆか 地域デザイン演習IV

神奈川大学 人間科学部教授

博士（学術）。専門は、生涯教育学、福祉教育・ボランティア学、生活経営学ほか。2016年より神奈川大学着任。主な関心は、世代を超えた人がつながる仕組み、生涯にわたる学びと成長など。著書は、『ボランティア活動とプロダクティブ・エイジング』（ミネルヴァ書房）、『実践事例にみるひと・まちづくり』（ミネルヴァ書房）、『創年のススメ』（ぎょうせい）、『福祉社会における生活・労働・教育』（明石書店）『ボランティア評価学』（ミネルヴァ書房）ほか多数。



堤 拓也 生涯学習論
社会教育論
地域デザイン演習I

神奈川大学 人間科学部助教

博士（学術）。専門は、社会教育学、ESD、福祉教育・ボランティア学習、総合・探求学習など。学生時代にボランティア活動のロマンに触れ、実践と研究に取り組む。2018年度から2023年度まで明石市立高齢者大学にて社会教育専門職として勤務。2023年度から2025年度まで佛教大学にて社会教育主事養成課程に携わり、2026年度に神奈川大学着任。ボランティア活動を通じた学びと持続可能な社会づくりのプロセスに関心をもつ。著書に『新たなワークキャンプ実践の可能性』（佛教大学研究叢書・ミネルヴァ書房）など。



寺嶋 正尚 社会教育経営論II

神奈川大学 経済学部教授

博士（経営学）。前職の産業能率大学在職中に、大学附設の地域マネジメント研究所研究員として、自由が丘のまちづくりに関する研究に着手。以降、研究領域の1つに、商店街研究やまちづくり研究を掲げる。近年では神奈川大学のある六角橋商店街や、全国の名物商店街に関する論文を執筆。



牧野 篤 生涯学習論

大正大学 地域創生学部
地域創生学科 教授

愛知県出身。名古屋大学大学院修了。博士（教育学）。2008年から2025年まで東京大学大学院教育学研究科教授。専門は中国近代教育思想、社会教育・生涯学習。日本のまちづくりや高齢化と過疎化問題、中国・台湾のコミュニティ教育・少子高齢化問題などに取り組む。最近では、自治体と公民館や生涯学習の共同調査を行い、多世代交流型コミュニティの構築を進める。企業とともに「ものづくりの社会化」プログラムなども運営。著書に『社会づくりとしての学び』（東京大学出版会）、『「つくる生活」がおもしろい』（さくら舎）など。



佐藤 彩 社会教育実習I・II
社会教育演習
社会教育論
地域デザイン演習I

神奈川大学 非常勤講師
社会教育課程地域コーディネーター

神奈川大学大学院修了。修士（人間科学）。2002年より横浜市立中学校で国語科教諭として勤務し、特別支援や不登校支援にも取り組んできた。学校司書の資格をもち、図書教育にも携わる。研究者としての専門分野は、放課後児童支援・子育て支援。また、保護者会役員として放課後児童クラブの運営に関わり、学校、家庭、地域をつなぐ支援体づくりに取り組んできた。地域における青少年の居場所づくりもしている。



古塚 典洋 生涯学習論

星槎大学大学院教育学研究科
准教授

これまでに2つの関心にもとづいて研究を進めてきました。ひとつは、地域づくりと学びです。自分たちの地域を自分たちの手で作っていくこと、わたしの学びがあなたの学びでもあるような教育のあり方などに興味があります。もうひとつは、通信・遠隔教育です。わたしたちはモノに触れ、他者と出会い、自分自身と向き合いながら学んでいます。こうした学びの過程と遠隔メディアを用いた教育との関係について考えています。



西野 博之 生涯学習支援論
地域デザイン演習II

(特非) フリースペースたまりば理事長・
川崎市子ども夢パーク/フリースペースえん/
川崎若者就労・生活自立支援センター「ブリ
ュッケ」/コミュニティスペースえんくる 各事業
総合アドバイザー

1986年より不登校児童・生徒や高校中退した若者の居場所づくりにかかわる。1991年川崎市高津区にフリースペースたまりばを開設。不登校児童・生徒やひきこもり傾向にある若者たち、様々な障がいのあるひとたちとともに地域で育ちあう場を続けている。2003年オープンの川崎市子ども夢パーク内に、川崎市の委託で公設民営の不登校児童・生徒の居場所「フリースペースえん」を開設、代表に就任。2006年、川崎市子ども夢パークの所長に就任。現在は総合アドバイザー。



妻鹿 ふみ子 ボランティア論
地域デザイン演習III

特定NPO法人日本ボランティア
コーディネーター協会研修講師

神戸女学院大学でソーシャルワークを学び、千葉大学で公共哲学を学ぶ。博士（公共学）。2025年3月まで東海大学健康学部で社会福祉士養成にかかわり、地域福祉やコミュニティソーシャルワーク演習を担当。現在は各地のボランティア研修やボランティアコーディネーター研修、グループリーダー研修などの講師をつとめる他、伊勢原市社会福祉協議会、社会福祉法人福祉楽団、パルシステム神奈川等の非営利組織の運営（経営）にかかわっている。専門は地域福祉論、ボランティア論、ケア倫理。現在の関心テーマは、地域に主体的な参加を生み出して地域の生活課題を解決するシステムをいかに作り出すか、ということ。著書に『学生のためのボランティア論』（大阪ボランティア協会）『地域福祉の今を学ぶ』（ミネルヴァ書房）等。



澤岡 詩野 生涯学習支援論II

東海大学健康学部
健康マネジメント学科 准教授

武蔵工業大学卒業、東京工業大学大学院博士後期課程修了、東京理科大学助手、(公財)ダイヤ高齢社会研究財団主任研究員を経て現職。専門は豊かに歳を重ねるための社会とのつながりのあり方を追求する「老年社会学」。特に、つながりが弱くなりつつある都市部で、ゆるやかなつながりのあり方、地域コミュニティへの関わりを研究している。アンケートやインタビューから得られたデータ分析だけではなく、実際に家庭や職場につぐ第三の居場所づくりにプレイヤーとして関わっている。



甲野 綾子 生涯学習支援論II

ミャンマー子ども支援団体
ソシア代表

学生時代より25年間、ミャンマー子ども支援ボランティアに従事。実務家および研究者として20年超、開発援助やNPOに関わる。専門は開発、ボランティア、多文化共生、人間の安全保障。近年はミャンマー人のボランティア活動を通じた意識変容を研究している。



木下 直子 ボランティア論

神奈川大学 非常勤講師
社会教育課程地域コーディネーター

早稲田大学大学院人間科学研究科博士後期課程満期退学。修士（人間科学）。2004年から横浜市青葉区にて地域子育て支援活動を開始。現在、横浜市補助事業親と子のつどいの広場WITH（運営団体：WITH代表）、横浜市あざみ野第二小学校放課後キッズクラブ（運営法人：NPO法人プレイフルキッズあざみ野理事長）、あざみ野西公園プレイパーク（世話人）に携わる。2012年より桐蔭横浜大学に勤務、2024年からは神奈川大学社会教育課程地域コーディネーターとして学生と地域の橋渡し役を担う。東京2020オリンピック空手競技大会や世界陸上2025、東京マラソンや横浜マラソンなど多数のスポーツイベントでのボランティア経験を有する。



磯田 浩司 ボランティア論

(特非) グッド代表

大学卒業後、一般企業就職を経て国際NGO活動や日本国内でのNPO、ボランティア活動に数多く参加。1998年より、大分県竹田市にある全校生徒300人中200人が元不登校という高校での住み込みボランティアを行う。その生徒たちとの出会いが契機となり、2001年1月不登校・ひきこもり経験者を含む全ての若者を対象にきっかけづくりの活動を行う任意団体、グッド設立。2008年11月NPO法人化/代表理事就任。ワークキャンプ、フリースペース、共同生活寮の運営を行う。